



長寿大学だより

2022年12月号

令和4年12月1日

編集・発行:長寿大学48期生
広報委員会

我孫子を知り、趣味を広げ、新しい仲間を作ろう



ねんりんピック



コロナ禍による中断で3年振りに開催！ぎこちなく、怪我なく盛り上がりました。



共に学ぶ喜び 新しい発見と気づき



いきいき発声教室



バードカービング



第一人者内山春雄先生の講義の様子
本物そっくりに掘られたアホウドリのデコイを利用して保護活動を続けた結果、アホウドリは徐々に増えて来たそうです。想像以上に大きなアホウドリには驚きですね。

多彩な 授業内容



声楽家 吉田真澄先生の発声指導の下、小学校以来の合唱、輪唱に年輪を重ねた新しい発見と気づきのひとときでした。

あの人も妻の後行く定年後

下藤明男

献立は孫の好みが一番優先

平本真由美

デザートは薬三種の盛り合わせ

吉田文子

家持ちで貯え備え子に逃がし

森田尚宏

48期生 優秀句

(両講師推薦)

来年も又やりたい
と言う声が多数
寄せられました♪

今回のテーマは「家族」で山本由宇保・六斎堂茂雄講師のご指導の下、あらゆる角度から人間観察し、ユーモアや切なさを五・七・五にし、楽しく学ぶことが出来ました。



「川柳」とは江戸時代の俳諧選者『柄井川柳』の名前が由来

川柳は世界で一番短い詩形で江戸時代より盛んに詠まれてきました。

川柳の楽しさを味わう

クラブ活動紹介



詩吟クラブ

『健康に吟ずることが一番』

「詩吟」と聞くと古めかしい！
と思いませんか。
私もそんな一人でした。
でも「健康にもよいですよ」の
キャッチにつられて入部。

現在8名の部員ですが未経験者
が大半、健康長寿を実践する96歳
の先生の下で練習に励んでいます。
大きな声出しと呼吸で気持ちも
身体もスッキリ、また吟ずる漢詩
等の内容に奥深さを感じ、心も健
やかになります。10余名のOBと
も練習し、今年は皆さんの前で
直接披露することも楽しみです。



俳句クラブ めなは句会



「俳句は宇宙詩である」と読んだことがあります。
先人の句を読み、小さな歳時記と辞書を傍らに
置き感じたままを、自分の思いを、僅か17音で
表現する。俳句を始めると物事の観察眼が発達
してきます。一種の脳トレだと思います。



社交ダンスクラブ

初めての方でも先生が手取り、足取り、優しく教えて
くれます。皆和気あいあい楽しく踊ってますので、ど
うぞ思い切って参加してください。



トピックス・街情報



48期生 ホタル観察会



夏休みに入った8月5日、48期生のホタル観察会を谷
津ミュージアムで行いました。初めてのホタル、久
し振りのホタル…など各々異なる思いをハイケホタル
の穏やかな点滅世界が包みました。

太極拳

…手賀沼公園広場で日曜日朝にボランティアの太極拳
の集まりがあります。



楽しみながら自ら体を動かし、健康な体と豊かな心、
笑顔や若さを取り戻すことを目指しています。現在長
寿大生も何人か参加し、元気な88歳の小川先生から
エネルギーをいただいています。ぜひ皆様もどうぞ。

長寿大学について

昭和49年(1974年)に1年制、昭和51年(1976年)から
4年制で開設されている我孫子市の公民館学級のひとつ。

「つどう場からむすぶ場に」
「まなぶからまなびあう」
「学習を地域に還元する」
という公民館の特性に沿って
活動。卒業生は延べ 2000人を
超えている。



詳細はネットで検索

我孫子市長寿大学 ×

検索

編集後記

脳の老化を防ぐには生活の中の「変化」が重要と
言われています。共に学ぶ喜びの中で「変化」の
手掛かりに富んだ長寿大学の活動内容が皆様に伝
われれば幸いです。今回の編集作業も初めて尽くし
の発見と気づきが満載な「変化」を感じる機会で
した。

48期(2年生)広報委員一同